

シンポジウム

「高齢社会のなかで北欧ケアを考える」

日時：**2012年5月5日**（土）13:00～17:00

会場：大阪大学中之島センター 7階セミナー室（定員 102名）

大阪市北区中之島 4-3-53 TEL.06-6444-2100 <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>



シンポジスト

- (1) 備酒 伸彦（神戸学院大学、リハビリ学）
「日本と北欧ケアの比較」
- (2) 中村 剛（関西福祉大学、福祉学）
「北欧ケアの理論的基礎とは？」
- (3) 浜渦 辰二（大阪大学、臨床哲学）
「北欧ケアに哲学はある？」



シンポジウムの趣旨：一昨年前から、「ケアの臨床哲学」研究会の主催、「患者のウェル・リビングを考える会」と「〈ケア〉を考える会」の共催という形で、「高齢社会における〇〇を考える」という6回のシンポジウムを開催し、「終末期医療」「ホスピス」「施設での看取り」「死生観」「人工栄養」「認知症のターミナル」といった問題について、さまざまな分野の専門家・一般市民といった垣根を越えて一緒に考えて参りました。これまで、ケアの現場で起きている問題を中心に考えてきましたが、あちこちでケアの現場を取り巻く組織・制度や社会・歴史といった大きな問題につながっているのを感じてきました。高齢社会のなかで日本の医療と介護の制度が抱える問題を考えるとき、福祉先進国と呼ばれる北欧の国々（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、アイスランド）のことが気になってきました。それらの国々では、高福祉高負担の道をとることによって、日本とは異なる道を歩んできていますが、そこにはケアについてのかなり異なる考え方あるいは文化があるように思われるのです。これからの日本の高齢社会のあり方を考えるとき、「北欧ケア」からいろいろ学ぶことがあるのではないのでしょうか。それぞれの研究者の話を聞きながら、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

■参加費：無料

■お問い合わせ・参加申し込み……参加予約が必要です
はがき又はメールでお申し込みください

氏名、TEL、FAX、メールアドレスを明記願います
定員になり次第締め切ります。

満席となりお断りする場合にはのみ、連絡いたします。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5

大阪大学大学院文学研究科 臨床哲学研究室

「ケアの臨床哲学」研究会（浜渦辰二） 宛

E-mail : cpshama@let.osaka-u.ac.jp

主催：「ケアの臨床哲学」研究会

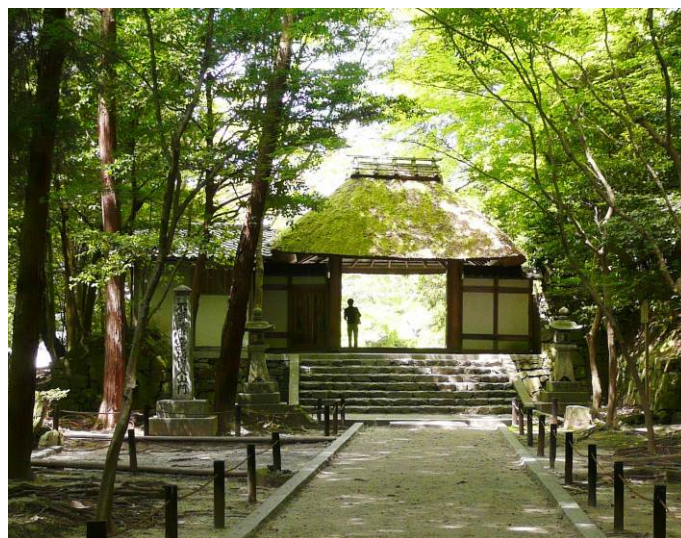
<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~cpshama/hamauzu.html>

共催：・患者のウェル・リビングを考える会

http://www.geocities.jp/well_living_cafe/

・〈ケア〉を考える会

<http://care-kyoto.jimdo.com/>



京都・法然院